

国試直前対策



自分の状況を把握して、
国試本番までのスケジュールを作ろう！

国試に向けてエンジン始動！

11月、マッチングが一段落し、卒業試験真つ只中の人もいれば、すでに終わった人もいるかと思えます。それぞれ置かれた状況は異なれど、全員に共通して言えることがあります。それは、**医師国家試験本番に照準を合わせた勉強のスケジュールリングを本格的にしなければならぬ時期**にきたということです。

そのためこれから何をすべきか、一緒に確認していきましょう。

「下位10%に入らない」ために…“医学生の平均”の勉強法を！

国試は合格率90%の試験です。国試に合格する、つまり下位10%に入らないためには、“**周りの受験生から大きく逸脱しないために、みんなと同じ勉強をすること**”が大切になってきます。

そして、全国平均の勉強法というのが「**ビデオ講義**」＋「**クエスチョン・バンク**」。

まだこれらの勉強がほとんどできていない人は、ここから始めましょう。

より国試に直結する勉強法をプラス！

これに加えて、**直前期にやるべき勉強**として右のようなものがあります。

次のページでそれぞれのメリット・デメリットをご紹介しますので、これを参考にしながら自分にあった**オリジナルの国試直前スケジュール**を作ってください！

- 『回数別 医師国家試験
問題解説』3年分 (p.14)
- 医師国試模試 (p.6)
- 直前対策講座 (p.8)
- 必修対策 (p.10)
- 公衆衛生対策 (p.12)



知識の定着のために復習を！

やみくもに問題集を解いて、直前対策講座をみて、医師国試模試を受けて…と、なんでもかんでも手を出したところで、頭に入れた知識が定着していなければ国試本番では使えません。それどころか、中途半端に覚えたことで解答に迷う問題が出てしまう可能性もあります。初歩的なことですが、次のようなことを心がけましょう。

- 間違えた過去問は理解して解けるようになるまで繰り返し演習する。
- ビデオ講座や模試を受けたら必ず復習する。わからなかった部分は自分で調べる。

自分が何をすべきか冷静に見極めて、最後まで力尽きることなく国試を迎えましょう！

直前期のオススメ勉強法

	<p>回数別過去問</p>  <p>→p.14へ!</p>	<p>医師国試模試</p>  <p>→p.6へ!</p>	<p>直前対策講座</p>  <p>→p.8へ!</p>
◎ メモ リット	<ul style="list-style-type: none"> ●国試の雰囲気を感じられる ●当時の受験生と成績比較ができ、力試しになる 	<ul style="list-style-type: none"> ●直前に復習すべきポイントがわかる ●受験生の中での自分の立ち位置がわかる ●国試の予想問題が含まれており、本番で出たら得 	<ul style="list-style-type: none"> ●講師陣の出題予想を知れる ●重要疾患に絞った学習ができる ●本番に向けて、全国の受験生と同じ思考回路を作れる
X デ メ リ ッ ト	<ul style="list-style-type: none"> ●あまりに国試間際に初めて解くと、結果が良くなかった場合に焦りや不安に繋がる(→1月前半までに初見で解くのは完了して、復習の時間をしっかり確保する) 	<ul style="list-style-type: none"> ●成績が悪いと焦りや不安に繋がる ●問題数が多いので、解くのに復習にも時間がかかる(→復習にかかる時間もあらかじめスケジュールに組み込む) 	<ul style="list-style-type: none"> ●見るのにかかる時間が決まっているため、自分のペースで勉強できない(→1コマあたりの時間が短いものを選び、うまく使う)
	<p>必修対策</p>  <p>→p.10へ!</p>	<p>公衆衛生対策</p>  <p>→p.12へ!</p>	
◎ メモ リット	<ul style="list-style-type: none"> ●必修問題のレベルを把握できる ●必修問題を解くために必要な考え方が身につく ●各疾患の最重要ポイントが掴める 	<ul style="list-style-type: none"> ●国試問題の10%以上を占める分野であり、点数に直結する ●勉強すればすぐに成績が伸びやすい分野である 	
X デ メ リ ッ ト	<ul style="list-style-type: none"> ●必修問題で出題される疾患は限られており、必修対策ばかりに時間を割きすぎると国試全体の勉強が間に合わない(→「必修問題とはこういうものだ」という意識をキープするために少ない時間で継続的に勉強する) 	<ul style="list-style-type: none"> ●臨床科目の勉強と毛色が違い、覚える量も膨大であるため、学習に時間がかかる(→他の受験生の知識量をこまめに把握し、それに合わせた学習時間に留める) 	